

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」磐田校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・配置数は適切ではない(基準は満たしているが、機能しきれていない)。 ・指導員が一人足りていません。	・支援数の調整を図っていくとともに、今後を踏まえて指導員数の充足を掛け合う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・入口に段差があるが段差解消のスロープを使用している。1階は段差なし ・バリアフリー化はしていないが、現状問題ない。 ・車いすの利用児はいない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・毎朝清掃を行っている。 ・使っていない机や椅子が多い。	・事業所内の整理整頓には空き時間を作って対応していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表をホームページにあげている。	・評価表の作成のみの留まらないよう共通意識を持っていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		・外部評価の予定は現在ない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・オンラインで法廷研修を受けている。	・研修に関して漏れが無いように、案内から回覧をしている。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・共通のアセスメントシートを使用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・月1回、小集団活動を実施している。	・小集団活動は継続して行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎朝、朝礼を行っている。	・朝礼は必ず設けて、毎日その日出動している職員が顔を合わせて話ができるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・朝礼で行っている。 ・次の日の朝礼で行っている。	・上記同様
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・同じような内容のものをいくつか用意をして、利用者が行うものを自己決定している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	3	・保護者や利用者から聞き取りをしている。 ・送迎業務を行っていないため。	・送迎は現在行う予定はなく、調整の必要は特にない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・希望があれば行っている。 ・そういう機会がなかった。	・保護者や関係機関からの要望に応じて行っていることが多いが、こちらからの提案も行っていてそれは継続していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	・希望があれば行っている。	・上記同様
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・事例検討会を行っている。	・上記同様
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		・上記同様
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・支援後の申し送りを行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		・毎回の支援の申し送り、定期的実施するきりりカフェ（保護者会）がそれにあたる。必要な保護者にはカフェの参加を促したい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きりりカフェを行っている。</li> <li>・きょうだい同士は設けていない。</li> </ul>	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		現在、地域住民を積極的に招待するといった活動はしていない。今後の要望に応じて検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、おやつを提供なし。</li> <li>・現在必要なし。</li> <li>・給食、おやつを提供していないため。</li> </ul>	・飲食物の提供は現在考えていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	・身体拘束が必要な利用児がいないため。	・重要事項説明書にて契約時に説明はしている。必要と感じる児の保護者には申し送り伝えてある。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	78	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	有資格者や経験値の高い職員が多く、様々な利用時への対応がスムーズ。	担当制にしないで一人の児童に対してなるべく多くの職員が当たるようにしている。	資格や経験値にとらわれず、みんなで意見を出し合っ てより良い支援を提供する。
2	状況に応じて支援室が広く使え、小集団活動にも適した空間設計ができる。	状況に応じて机などをどかして空間を広く使うようにしている。	不必要なもの、普段なかなか使われないものを整理してより空間を広く使えるように努める。
3	アナログゲームの数が多く、利用時の状況に応じた支援の幅が広がっている。	お楽しみのゲームとしてだけではなく、支援としてもアナログゲームを取り入れて楽しく活動できるようにしている。	支援として活用できるようなアナログゲームを積極的に活用していく。そのための情報収集をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援以外の業務になかなか手が回らない時がある。	職員一人一人に対する仕事量がキャパシティを超えていると感じる時期がある。	効率の良い仕事ができるように作業分担をしたり優先順位をしっかりと立てた仕事ができるように喚起していく。
2	ある程度広い敷地であると思われるが、生かし切れていないところもある。	余計なものが多く、整理がし切れていない。	できるときに整理していくようにする。個人ではなく、事業所全体で動く時間を設けていく。
3	経験値が多い職員が多い反面、支援内容に凝り固まったところがあるのではないかと、刺激が少ないのではないかと感じる。	他事業所との交流がなく、同じきらり内での交流が減ってきている。	機会があれば積極的に参加できるよう時間を作っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」磐田校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 78

回収数 43

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	5	0	2	・体を大きく動かせるように、もう少し広くてもいいと思います。	・スペースを広く使えるように、机やイス等の配置を検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	2	1	5		・曜日や時間帯によって偏りが出ないよう配置できるよう努めています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	10	2	7	・階段が急でバリアフリーではない ・あまり中に入った事がないので、施設内の詳細までわからない。	・階段の上り下り際には指導員も注意を払って手すりを持つよう伝えていきます。 ・支援見学は随時受け付けておりますので、ぜひ支援見学をしてください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	4	0	1		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	4	0	1	・支援員によってムラがある。	・職員間の連携を密にして、利用児の理解に努めて支援にあたるよう再確認していきます。指導員間でも得意不得意や資格の有無があるのでそれを生かしながら支援にあたっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	2	0	4		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	40	2	0	1	・毎回のフィードバック後日でもいいのでネットなどで確認できたらいいです。送迎が祖父なので、細かい支援内容まで親に伝わってきません（祖父も全部は覚えていられない）。本人はほとんど話してくれません。	・必要に応じて連絡帳等ご用意いただければ対応していきます。LINEやお電話でのご相談は随時受け付けております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	1	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39	2	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	5	0	3	・きらりは近隣のほかの放デイとは違うので、毎回の内容がある程度固定化されているのは問題ないと思う。最後のゲーム？を本人が選んだりという工夫はされている。	・ありがとうございます。今後も個別支援を生かした支援を続けて参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	19	3	16	5	・必要ないと思う。	・必要に応じて検討していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	1	1	0		・必要な情報を端的に伝えていくよう努めます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	3	1	1		・必要な情報を端的に伝えていくよう努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39	1	0	3	・定期的に「きらりカフェ」があり、発達特性や後の進路など様々な勉強会もありありがたいです。以前きらりカフェに参加した事もあり、とても参考になり今後とり入れていきたいと思いました。	ありがとうございます。今後も皆様に役立つ情報や場の提供をしていきたいと思っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	7	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	10	2	2		・毎回の申し送りやきらりカフェでの情報提供を大切にしていきます。支援見学もできますので直接お子様を見ながらの助言もできます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	2	0	1	・突然相談してもじっくり話を聞いてくれて共感してくれ、とてもありがたいです。	・ありがとうございます。送迎時でもLINEでもお電話でも、随時相談は受け付けています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30	6	1	6		・定期的にきらりカフェを開催して交流の機会を設けています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	4	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	3	0	1	・毎回のフィードバック後日でもいいのでネットなどで確認できたらいいです。送迎が祖父なので、細かい支援内容まで親に伝わってきません（祖父も全部は覚えていられない）。本人はほとんど話してくれません。親が迎えに行けないには、うちの都合なのですが。。	・必要に応じて連絡帳等ご用意いただければ対応していきます。LINEやお電話でのご相談は随時受け付けております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	36	4	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	2	1	2		・各種マニュアルは作成されており、定期的に研修を受け訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	2	0	4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	3	0	4	・実際そのようなケースになった事がないのでわからない。 ・自分にとって、事故怪我等の状況になった事がないためわかりません。	・そのようなケースがあった際には速やかに対応できるよう、訓練も定期的に実施しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	39	4	0	0	・特性のある子供にとって安心感を持って通える事、場所は1番大切だと思ってます。なので、きらりの指導員さんには、感謝しています。	ありがとうございます。今後も安心感を持って通所してもらえよう努力していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	8	0	0	・イベントは楽しみにしているが通常の通所は前ほど「楽しい！」という感じはないけれど、本人の成長に伴いそれは当然の感覚かなと思っている。	・成長の実感をしてもらえることはこちらとしても嬉しいです。楽しく継続して通えるように、という視点は忘れないようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	5	0	0	・個別支援や学習的な要素の放デイは近隣にほかにないので、親としては今後も長く通ってほしい。 ・概ね満足、たまに不満あり	・個々の状況やその日の状態に応じてプログラムは臨機応変に対応していきます。